

令和5年(1月～12月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成
 ※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

確定版

【表1 業種別の労働災害発生状況】

伊丹労働基準監督署

業 種	令和5年(1月～12月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	589	100.0%	1,057 (5)	100.0%	-468 (-5)	-44.3% (-100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	207	35.1%	229 (4)	21.7%	-22 (-4)	-9.6% (-100.0%)	
製 造 業	116	19.7%	111 (1)	10.5%	5 (-1)	4.5% (-100.0%)	
鉱 業						- (-)	
建 設 業	21	3.6%	35 (2)	3.3%	-14 (-2)	-40.0% (-100.0%)	
運 輸 交 通 業	56	9.5%	63 (1)	6.0%	-7 (-1)	-11.1% (-100.0%)	
貨 物 取 扱 業	8	1.4%	11	1.0%	-3 (-)	-27.3% (-)	
農 林 業	6	1.0%	8	0.8%	-2 (-)	-25.0% (-)	
畜 産 ・ 水 産 業			1	0.1%	-1 (-)	-100.0% (-)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	382	64.9%	828 (1)	78.3%	-446 (-1)	-53.9% (-100.0%)	
商 業	卸 売 業	14	2.4%	9	0.9%	5 (-)	55.6% (-)
	小 売 業	72	12.2%	76	7.2%	-4 (-)	-5.3% (-)
	上記以外の商業	5	0.8%	8	0.8%	-3 (-)	-37.5% (-)
	計	91	15.4%	93	8.8%	-2 (-)	-2.2% (-)
通 信 業	3	0.5%	9	0.9%	-6 (-)	-66.7% (-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	75	12.7%	284	26.9%	-209 (-)	-73.6% (-)
	社 会 福 祉 施 設	126	21.4%	341	32.3%	-215 (-)	-63.0% (-)
	上記以外の保健衛生業			16	1.5%	-16 (-)	-100.0% (-)
	計	201	34.1%	641	60.6%	-440 (-)	-68.6% (-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	23	3.9%	25	2.4%	-2 (-)	-8.0% (-)
	ゴ ル フ 場	8	1.4%	8	0.8%		
	上記以外の接客娯楽業	4	0.7%	1	0.1%	3 (-)	300.0% (-)
	計	35	5.9%	34	3.2%	1 (-)	2.9% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	5	0.8%	3	0.3%	2 (-)	66.7% (-)
	廃 棄 物 処 理 業	6	1.0%	8	0.8%	-2 (-)	-25.0% (-)
	上記以外の清掃・と畜業	4	0.7%			4 (-)	- (-)
	計	15	2.5%	11	1.0%	4 (-)	36.4% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	7	1.2%	1	0.1%	6 (-)	600.0% (-)
	上記以外のその他の事業	16	2.7%	21	2.0%	-5 (-)	-23.8% (-)
	計	23	3.9%	22	2.1%	1 (-)	4.5% (-)
金 融 広 告 業	7	1.2%	4	0.4%	3 (-)	75.0% (-)	
映 画 演 劇 業						- (-)	
教 育 研 究 業	5	0.8%	13 (1)	1.2%	-8 (-1)	-61.5% (-100.0%)	
官 公 署	2	0.3%	1	0.1%	1 (-)	100.0% (-)	
(陸上貨物運送業)	47	8.0%	49 (1)	4.6%	-2 (-1)	-4.1% (-100.0%)	

注 第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一〇業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三次産業と呼んでいます。